

科目名	<b>上級英会話</b>		科目分類	□専門科目群 ■総合科目群	
			全学科	□必修 ■選択	
英文表記	Advanced English Conversation		開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年	
			開講期間	□前期 □後期 ■通年 □集中	
ふりがな	はんだ さちこ		実務家教員担当科目	修得単位	2単位
担当者名	半田 幸子		実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用	
授業のテーマ	映画を通して日常会話で話される口語表現をできるだけ多く習得し、自然な会話ができるようになる。				
到達目標	<p>この授業の単位を修得した場合、次のような知識・技能が修得できます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. アメリカの日常生活でよく使われるイディオムや慣用表現などの口語表現を理解することができる。</li> <li>2. 習った口語表現の使用場面を理解し、実際の英会話の中で自然に用いることができる。</li> <li>3. 身の回りのトピックに関して、自然で滑らかな英語で会話ができる。</li> </ol>				
授業概要	<p>この授業では、一般的に想像されるような会話練習に終始するものではなく、映画『トゥルーマン・ショー』を題材にした教科書『映画総合教材「トゥルーマン・ショー」【新装版】』を用いて、英会話の表現について学びます。教科書で扱う映画『トゥルーマン・ショー』は、ジム・キャリー主演で1998年公開のヒューマンコメディです。20年以上前の作品ではありますが、監視社会への懸念というSNS時代の到来を予見するかのような内容で、今でも十分通用する面白さです。映画を通して日常的に使われる口語表現や語彙を学びつつ、作品の主題について考えることで思考力も養いましょう。</p>				
授業計画 (以下の計画は、授業の進捗状況および受講者の学習状況によっては変更することがあります。)					
第1回	ガイダンス (授業概要説明)・作品鑑賞 (前半)	第17回	前期のおさらい		
第2回	フィードバック・作品鑑賞 (後半)	第18回	Unit 6 Truman and Meryl Go for a Ride (pp. 37-39)		
第3回	Unit 1 Meeting Truman (pp. 3-5)	第19回	Unit 6 Truman and Meryl Go for a Ride (pp. 40-42)		
第4回	Unit 1 Meeting Truman (pp. 6-9)	第20回	Unit 7 The Reunion (pp. 43-45)		
第5回	Unit 2 Fear of the Ocean (pp. 10-12)	第21回	Unit 7 The Reunion (pp. 46-49)		
第6回	Unit 2 Fear of the Ocean (pp. 13-16)	第22回	小テスト① (範囲: Unit 6-7) / Discussion		
第7回	小テスト① (範囲: Unit 1-2) / Discussion	第23回	Unit 8 Truman's Past Revealed (pp. 50-52)		
第8回	Unit 3 Lauren & Sylvia (pp. 17-19)	第24回	Unit 8 Truman's Past Revealed (pp. 53-56)		
第9回	Unit 3 Lauren & Sylvia (pp. 20-23)	第25回	Unit 9 Truman Disappears (pp. 57-59)		
第10回	Unit 4 Something Strange Is Going On (pp. 24-26)	第26回	Unit 9 Truman Disappears (pp. 60-63)		
第11回	Unit 4 Something Strange Is Going On (pp. 27-29)	第27回	小テスト② (範囲: Unit 8-9) / Discussion		
第12回	Unit 5 Truman Tries to Leave (pp. 30-32)	第28回	Unit 10 Truman Finds Out (pp. 64-66)		
第13回	Unit 5 Truman Tries to Leave (pp. 33-35)	第29回	Unit 10 Truman Finds Out (pp. 67-70)		
第14回	小テスト② (範囲: Unit 3-5) / Discussion	第30回	小テスト③ (範囲: Unit 10) / Discussion		
第15回	おさらい	第31回	おさらい		
第16回	前期定期試験	第32回	後期定期試験		
授業時間外の学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に教科書で扱う箇所に目を通し、分からない単語を調べて内容を確認しておくこと。(1.5時間程度)</li> <li>・授業後に音声ストーリーミングも聴きながら授業で学んだ箇所をしっかりと復習すること。(1.5時間程度)</li> <li>・日々、できるだけ時間を作って、音楽、映画、テレビドラマ、ニュース、ラジオ、新聞、雑誌等で英語に触れるようにしてください。(毎日0.5-1時間程度)</li> </ul>				
履修条件 受講のルール	<p>&lt;受講上のルール&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回、辞書(紙媒体・電子辞書どちらでも可)を持参してください。</li> <li>・スマートホンの翻訳アプリの使用やネット検索は認めません。</li> </ul>				

テキスト	Andrew Niccol 『映画総合教材「トゥルーマン・ショー」【新装版】』松柏社、2021年。
参考文献・資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・映画『トゥルーマン・ショー』（1998年）</li> <li>・山口美知代編著『世界の英語を映画で学ぶ』松柏社、2013年。</li> <li>・藤枝善之監修（映画英語教育学会関西支部著）『音読したい、映画の英語——心に響く珠玉のセリフ集』スクリーンプレイ、2005年。</li> <li>・藤枝善之監修（映画英語教育学会関西支部著）『暗唱したい、映画の英語——心に刻む感動の名セリフ集』金星堂、2007年。</li> </ul>
成績評価の方法	<p>【授業への取り組み（35%）、毎回のコメントシート（5%）、小テスト（10%）、定期試験（50%）】 上記評価項目をもとにして総合的に判断します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。</li> <li>・授業の理解、および予習復習が十分であることを確認するため、学期ごとに3回の小テストを行います。</li> <li>・出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。</li> </ul>
オフィスアワー	<p>毎週月曜日・水曜日 15:00～ ※これ以外の時間・曜日は、事前に予約をとってください。</p>
成績評価の基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	映画を通して、楽しく会話表現を学びましょう。